

岩手県高齢者総合支援センターだより

令和7年3月26日

公益財団法人いきいき岩手支援財団

TEL:019-625-7490

FAX:019-625-7494



こんにちは、岩手県高齢者総合支援センター（いきいき岩手支援財団）です。暖かな日差しに春を感じる今日この頃です。春はたくさんの花々が楽しめるのでわくわくしますね。それでは今年度さいごの「センターだより」（第103号）をおとどけします。来年度は当センターの業務もパワーアップする予定です。新年度に向けて気持ちを新たに日々の業務に取り組みましょう。



気仙地区民生委員・児童委員研修会にて 認サポをおこないました！

気仙地区民生委員・児童委員研修会

令和7年2月7日（金）に陸前高田コミュニティホール（シンガポールホール）にて気仙地区の民生委員・児童委員を対象に研修会が開催され、研修の一部で認知症サポーター養成講座を行いました。

当日は雪が降っているにも関わらず、159名の方々に参加していただきました。研修会の講評で陸前高田市民生委員児童委員協議会会長より、自身の身内にも認知症の方がおり、今回の講座内容のような接し方ができていたかどうか振り返る機会になりましたと話されていました。

介護ロボットセミナー開催のご報告



令和7年2月18日（火）にホテルメトロポリタン盛岡にて介護ロボットの導入・実証・普及広報のプラットフォーム事業、介護ロボット等導入支援事業の“いわて働きやすい介護現場サポートセミナー&介護ロボット展示会”を開催しました。

令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働省表彰奨励賞を受賞した社会福祉法人つくし会よりデンマークの福利厚生を取り入れた事例を発表していただきました。また、岩手相談窓口の業務アドバイザーである株式会社TRAPEの鎌田代表取締役から「生産性向上の取組みを経て愛護の価値を生み出した事業者の特徴とは？」との題目で講演を頂戴しました。

「介護現場の生産性向上の取組み成果と今後の課題」というテーマで実践事例報告を3つの事業所にいただき、その代表者の方と鎌田氏とでトークセッションを行いました。

本セミナーはハイブリッド形式で開催しましたが、現地とオンラインで多くの方々に参加していただきました。



展示会には様々な企業さまと多数の参加者にご来場いただきました！ありがとうございました。



<トークセッションの様子>

地域包括ケア連絡会を開催しました！



◆岩手県リハビリテーション専門職等連絡会

令和7年2月22日（土）アイーナ 参加者61名



「一部改正された総合事業におけるリハビリテーション専門職の役割～『してあげる介護』から『元の生活を取り戻す支援』へ～」と題して、医療経済研究機構政策推進部中村一朗副部長から講義をいただきました。元の生活を取り戻す支援とは、リハ職が生活機能の低下した高齢者に対して3か月間週1回の面談により高齢者本人のセルフマネジメントを引き出す動機づけ支援（リエイブルメントプログラム）を行って、高齢者が自分らしく暮らしていた頃の生活を取り戻すプログラムのことです。高齢者の自己肯定感が増し、意欲の向上や活動量の増加など良好な変化を促す取組であり、高齢者にとっても介護サービス以外の選択肢として全国でも注目されている取組です。また、同プログラムを導入している荻野病院（盛岡市）の実践事例紹介では、その効果のほか、リハ職の大切な役割は目標を定めてセルフマネジメントを獲得し行動変容を促すこと、高齢者が自分の意思で元気になっていくための意思決定支援を行うこととの報告がありました。

◆岩手県認知症地域支援推進員連絡会

令和7年3月5日（水）アイーナ 参加者53名



【写真中央】 いわて認知症希望大使
大坪 長六 氏

「認知症疾患医療センターの役割と取り組み～地域との連携を目指して～」と題して、基幹型センター岩手医科大学赤坂博助教と地域型センター県立南光病院渡邊加奈子看護師長補佐から講義をいただきました。認知症支援に携わる市町村包括との連携の大切さの理解が深まった内容でした。地域における取組として、岩手

西北医師会認知症支援地域ネットワーク代表紺野敏昭医師から、滝沢市と岩手町で実践する「いきいきドライブ Café」の取組が紹介されました。この取組は身近にある自動車学校を会場として、高齢者とその家族を対象に運転技能や視野の検査、カフェ形式での悩み相談などを行い、高齢者の運転免許更新について家族みんなで考えて決める機会を提供するものです。円満な免許返納や必要な医療との繋がりなど地域課題解決のためのヒントが感じられる注目すべき内容でした。また、滝沢市と岩手町の地域包括支援センターから包括の関りについて詳しく説明をいただき、多くの参加者から自地域でも取り組んでみたいとの感想が寄せられました。続いて、いわて認知症希望大使の大坪長六さんと支援者である娘さんから、本人と家族の想いについてお話いただきました。本人大使としての活動が健康寿命だけでなく社会貢献寿命を延ばすことに繋がっていることや運転免許返納をきっかけとして親子関係が以前より近くなったことなどが印象的でした。最後に大坪さんが自慢ののどを披露され、大きな拍手の中連絡会は幕を閉じました。



おらせ

総合相談業務（シルバー110番）に係る
一般相談及び法律専門相談の終了について



センターでは岩手県からの委託により、高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談できるサービスとして「シルバー110番」を開設してきましたが、今年度をもって終了となりますのでお知らせします。来年度は権利擁護相談と包括支援センターを対象とした包括相談は継続します。詳細については、来年度（4月1日以降）のセンターホームページをご参照ください。

こちらから





地域を訪問して意見交換を 開催しました！



◆地域包括ケアシステム構築支援に係る市町村個別ヒアリング

財団担当者が市町村を訪問して市町村の地域包括ケア担当者と情報交換や意見交換を行う今年度の個別ヒアリングを令和7年2月までに全市町村で実施しました。いずれの市町村からも「担い手の高齢化と担い手不足」「住民ニーズの多様化と課題の複雑化」などに苦慮しているとの声が聞かれたほか、総合事業で新たな取組を始めたくても「職員体制が厳しい」「事業所に余裕がない」など人員体制の不足が大きな課題となっています。そのような中、オレンジチューターやアドバイザーの派遣を受けてチームオレンジの立ち上げ、生活支援体制の再構築、地域ケア会議の効果的な運営などに取り組んでいる市町村も多くありました。財団では今後も個別ヒアリングを実施しながら諸課題を共有するとともに、地域課題の解決に向けて、研修会等の充実やアドバイザー等派遣事業を行ってまいります。

◆圏域市町村等地域包括ケア連携連絡会

令和7年1月30日（木）久慈地区合同庁舎 参加者：久慈・二戸圏域市町村担当者等22名

令和7年2月4日（火）奥州地区合同庁舎 参加者：中部・胆江・両磐圏域市町村担当者等23名

市町村と県振興局の担当者を対象に、地域包括ケアの連携に関する連絡会を開催しました。冒頭に松本良啓弁護士から「身寄りのない高齢者が亡くなった場合の対応」についての講義で地域課題への認識を深めた後、各市町村等からあげられた情報交換テーマ（介護人材や生活支援の担い手確保、在宅医療介護連携、市町村認知症施策推進計画の策定、地域ケア会議の運営）について議論しました。出席していただいた県長寿社会課には、各圏域との顔の見える関係を築いていただくとともに、県の方向性を示していただく貴重な機会となりました。

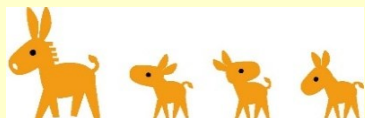
第2回岩手県認知症キャラバン・メイト

養成研修のご報告



令和7年2月25日（火）岩手県産業会館大ホールで2回目のキャラバン・メイト養成研修を開催しました。

講師は第1回と同様に、岩手医科大学 石塚直樹講師と矢巾町地域包括支援センター 鱒沢陽香認知症地域支援推進員にお引き受けいただきました。グループワークでは、講師と会話しながらアドバイスを受け、より良い発表にしようとアイディアを出し合う姿が多数見られ盛り上がっている様子でした。



来年度も引き続き、キャラバン・メイト養成研修を実施予定です。周知の程よろしくお願いいたします。

第2回介護予防情報交換会



岩手県立大学看護学部老年看護学
准教授 馬林 幸枝 氏

県内市町村が行う住民主体の通いの場づくりを支援することを目的として、今年度2回目となる介護予防担当者向けの情報交換会を開催しました。県内市町村の好事例として釜石市の「社会的処方」の取組みと「いきいき百歳体操」の取組みを報告していただきました。そのあとに、グループワーク・情報交換で岩手県立大学看護学部老年看護学の馬林准教授に「自分も地域も元気になろう！」というテーマでファシリテートしていただきました。



釜石市が実践する「社会的処方」とは、課題を抱える方に対して、地域活動やサービスなどのつながりを支援することで本人の健康や幸福度の向上を目指す取組みです。

課題を抱える方の抽出のために、健診や受診を起点とした「社会的処方連携パス（つながるパス）」を活用し、釜石市医師会をはじめ、薬剤師会や社会福祉協議会等などの関係機関と包括的相談支援体制構築に向けた取組を行っているとのことでした。

「いきいき百歳体操」では、継続支援に力を入れるために①シルバリンピック②いきいき百歳体操交流会③活動団体のトリアージ④マンネリ化防止の体操教室⑤団体紹介パンフレット作成⑥困りごとの相談対応を行っていると紹介されました。参加者の方々からは参考になったという意見が聞かれました。



アイスブレイクにより、和やかな雰囲気グループワークが行われました ^^



ご参加いただきありがとうございました！

総合相談支援業務に係る情報交換会及び相談会の報告

- ◆沿岸会場 3月3日(月) 大槌町文化交流センター「おしゃっち」多目的ホール 4名
- ◆県南会場 3月4日(火) 平泉町学習交流施設「エピカ」多目的ホール 4名
- ◆盛岡会場 3月7日(金) いわて県民情報交流センター アイーナ 会議室501 5名
- ◆県北会場 3月11日(火) 二戸合同庁舎 大会議室 8名

普段の業務では関わる機会の少ない他市町村の包括職員の方と情報共有する機会を持つことにより、顔の見える関係性づくりの一助となれば幸いです。業務多忙の中、ご参加くださいましたみなさまありがとうございました。



ケアプラザいわてのお知らせ

介護ロボット・福祉用具についてお気軽にお問い合わせ下さい。
お一人でもグループ・団体でも見学、体験できます。

場所：岩手県高齢者総合支援センター

時間：平日9時から17時まで

